



またしても刃物で多くの子供や大人が刺されるという痛ましい事件が発生してしまいました。多数傷病者はいつどこで発生しても不思議ではありません。現場の安全確認と二次被害防止、早期医療介入の方法、搬送順位・搬送方法・搬送先の決定、そして一元化した情報収集、などなど普段から訓練しておくべきことはたくさんありますが、現実はなかなか進んでいません。徳島でも「いつか起こる」と考えて備えておきたいです。

統括 DMAT 研修に参加してきました

災害が起こった際、全国から集まったDMATが有効に機能するためには指揮官が必要になります。DMAT 医師隊員を対象とした統括 DMAT 研修がこの度開催され、私もお手伝いで参加し知識のブラッシュアップを図ってきましたのでご報告です。

日時: 令和元年 5 月 20 日(月)21 日(火)

場所: 内閣府災害対策本部予備施設(立川市)

受講者: 医師 128 名(うち徳島 2 名)

今回の会場は映画「シン・ゴジラ」のロケ地でも有名な施設でした。都心で激甚災害が発生し首相官邸や内閣府が使えなくなった場合、首相はじめ全閣僚が約 30km 離れた立川に移ってきて指揮を取るためにあらかじめ準備されている場所です。2 階のオペレーションルームにはノートパソコン 100 台が整然と並べられており、担当ごとの張り紙が掲げられ、椅子には役割ごとの色別のビブスがかけてありました(残念ながら写真撮影禁止)。実際にはまだ一度も使用されたことがないこの施設ですが、隣には警視庁、東京消防庁、海上保安庁、陸上自衛隊などもあって、とても頼もしいものでした。

さて、前置きが長くなりましたが統括 DMAT 研修に行ってきました。



気づいたこと／知ったこと／思い出した重要なこと

EMIS 入力

- ・ 参集 DMAT の登録では、情報に間違いがないか確認すること
- ・ 本部で EMIS 運用に困らないために隊員は EMIS 操作に習熟しておくこと
 - 技能維持・ロジスティック研修や実働訓練などで繰り返し練習

DMAT における各本部の役割1「活動拠点本部」

- ・ 活拠の業務: 指揮系統の確立、医療機関の情報収集、DMAT の指揮、搬送調整、撤収と引き継ぎ
- ・ DMAT の TTT 活動で重要なのは籠城支援が最初。燃料や医療資器材投入すること

で搬送すべき患者数が減る。次に拠点病院、そして域外拠点病院、SCU。

- DMAT の搬送活動
 - 広域搬送時には病院間搬送が重症患者の根本治療までのボトルネック
 - 病院避難では多大な搬送手段の確保が必要→早めに手配(上位本部へ)
 - 搬送専従の DMAT を配置するのが原則
- 参集 DMAT への活動支持
 - 指示票に基づき指示、マナーについても注意、EMIS 変更も必ず指示
- 活動 DMAT の安否確認
 - 余震時の方針をあらかじめ決めておく、定時報告も必要
- 避難所支援
 - リストは保健所や市町村役場が持っているが
 - ◇ 私的避難所もあるかも←住民である役場職員が知っている場合がある
 - 全国保健師長会の提示する避難所日報様式
 - ◇ EMIS の避難所緊急入力項目といくつかは同じ
 - ◇ EMIS は日にちを遡って指定できるようになった

DMAT における各本部の役割「県調整本部の業務」

- DMAT 調整本部から県災対本部にリエゾンとして派遣するのは
 - 搬送調整担当の副本部長
- 会議体(ADRO、KuraDRO、など)
 - 設置場所は、アクセス、駐車場、広さ、耐震構造、などを踏まえ決定
 - 立ち上げる本部の名称は「保健医療調整本部」(厚労省連名局長通知)
- 調整本部に必要な電話回線数は
 - 連絡する必要がある本部数÷2×2(発信・受信専用)+2(予備)
- 病院への物資供給支援が大事
 - 建物倒壊:建物危険度判定士の派遣(→国交相、TEC-FORCE)
 - 電気:電源車手配(→経産省、電力会社)、自家発電の石油供給(→経産省、石油連盟、自衛隊)
 - 水(→水道局、自衛隊)
 - 医療ガス:液体酸素、酸素ボンベ、酸素濃縮機(→業者)
 - 食糧(→支援物資対応部局、自衛隊)
 - 医薬品(→薬務局、卸業者)

実習「活動拠点本部」

- クロノロに書くべき情報を付箋に書いて渡すとわかりやすい
- EMIS に衛星携帯番号を入力しておくこと

今年度の大規模地震時医療活動訓練は「首都直下」

毎年9月1日の防災の日あたりで開催されている政府訓練ですが、今年は首都直下地震の想定で南関東を会場に開催されます。わが国は東京が壊滅すると一気に開発途上国となってしまうリスクを背負っています。来年にはオリンピック、パラリンピックを控え、首都防衛を考えます。

日時:令和元年9月7日(土)朝から夕方

会場:東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

当院からもDMATが派遣される予定です。留守中は申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願い致します。訓練を通じて経験値を上げてきます。